

夏季臨床動作法学習会が実施されました。

8月6日（月）～8日（水）の3日間、本校生活学習棟にて行われました。
本校小・中学部児童・生徒7名と市内の小学校より3名の計10名の参加がありました。

臨床動作法は、九州大学を中心として開発展開されている我が国独自の方法であり、肢体不自由のある児童生徒のみならず自閉症や知的障害にも有効とされています。

本学習会は、児童生徒らがその成果を体験するとともに、保護者にとっても臨床動作法の技術と知識を学ぶ機会になります。



1日目ははじめの会のあと保護者よりの聞き取りのあと、児童・生徒は動作学習を、保護者は「日常生活への生かし方」について学習しました。

2日目は保護者の会では、「臨床動作法について」「基本の実技」について学習しました。児童・生徒は休憩をはさんで2回の動作学習を実施しました。

最終日には、動作学習1回と保護者の会では「動作法の広がりについて」についての学習がありました。その後3日間の学習を通しての成果や今後の家庭での課題などが保護者にトレーナーより伝達されました。

終わりの会では、参加児童・生徒のがんばりやトレーナー・サブトレーナーの先生方へのお礼・保護者への感謝の気持ちを込めて大きな拍手が贈られました。3日間の臨床動作法の学習会を通して、トレーナーもトレーニーにも成長が見られ、参加してよかったとのご意見が多数聞かれました。

